3.1.1	請求記号	JP-1005490-香取秀真旧蔵資料
3.1.2	タイトル	香取秀真旧蔵資料 KATORI Hotsuma Papers
3.1.3	年代域	旧蔵書籍を除き、確認できる範囲で1891（明治24）年9月24日～1954（昭和29）年1月23日
3.1.4	記述レベル	フォンド
3.1.5	数量と媒体	ファイリング・キャビネット引き出し5個、紙媒体
3.2.1	作成者名称	香取秀真
3.2.2	組織歴・履歴	「香取秀真」（『日本美術年鑑』昭和30年版、pp.171-173、物故者）を参照のこと https://www.tobunken.go.jp/materials/bukko/8770.html
3.2.3	伝来	作成者の没後、遺族によって整理されたのち、1964年に香取秀真氏未亡人香取住江*氏により東京国立文化財研究所に、未刊調査録、自作工芸品の意匠図案、訂補書入自著および美術図書等多数が寄贈された（「美術研究所所報 昭和三十九年」『美術研究』第240号、1966年3月、p.34）。以降、遺族からの寄贈は数回に渡った。 寄贈資料のうち、未刊調査録、自作工芸品の意匠図案などは「香取秀真文庫資料」として受け入れられた。書籍100タイトル153冊は、1969年11月11日付で「香取秀真文庫」（登録番号13840～13939）として登録され、資料閲覧室の蔵書となった。 受入当時から美術部によって管理されてきたが、研究所の組織改編を経て、現在は文化財情報資料部文化財アーカイブズ研究室によって管理されている。保管されている目録には数種類あり、それぞれ作成時期・作成者が異なるとみられる。シリーズ1～6は「香取秀真文庫資料」、後に「香取秀真資料（第1期寄贈分）目録」として、さらに詳細な目録が作成された。シリーズ8, 9は「香取秀真資料」として一覧が作成された。シリーズ7には目録が現存しないが、資料番号ラベルが貼付されていた。 本資料群は、「香取秀真文庫資料」と、「香取秀真文庫」のうち「香取秀真文庫資料」シリーズ5に組み入れられた訂補書入自著10点を「香取秀真旧蔵資料」としたものである。2022年資料保全作業と既存目録が整理され、2023年に「香取秀真旧蔵資料」として目録が一元化された。 *香取秀真逝去時の妻は「たけ江」と表記される（香取秀真「私の生涯」、『中央公論』第784号、1954年1月、p.235）。
3.2.4	収集又は移管による入手先	遺族からの寄贈
3.3.1	範囲・内容	スケッチブック、日記、歌集、原稿、覚書、書簡などの手稿および印譜。原稿には香取秀真以外の筆跡と見られるものもある。日本各地の鐘を中心とする鋳物や鋳物師を対象とする調査記録や実測図、拓本、写真。著者書入れ本を含む書籍、論文抜刷などの出版物、新聞記事の切り抜き。
3.3.4	編成	東京国立文化財研究所にて第1期寄贈分をシリーズ1～6に分類、資料番号の付与と目録作成が行われた。シリーズ7～9は第1期後の寄贈と思われ、シリーズ8と9は一括して目録が作成されている。2022年2月時点で、シリーズ1～9には資料番号が付与されていたため、この資料番号に倣い、第1期寄贈資料中に混在していた未整理資料をシリーズ10として資料群全体を編成した。 シリーズ1：図案帳 シリーズ2：調査ノート、実測図、メモ類 シリーズ3：拓本、写真 シリーズ4：印譜 シリーズ5：書籍 シリーズ6：書状類 シリーズ7：追加受入れ資料 シリーズ8：日記・歌集 シリーズ9：原稿類 シリーズ10：未整理資料
3.4.1	公開条件	事前申込制 閲覧は事前申込制（原則閲覧希望日の1週間以上前）。著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での公開となるため、閲覧が制限される場合がある。（→閲覧申請）
3.4.2	複製条件	著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での利用となるため、複製が制限される場合がある。
3.4.3	言語・スクリプト	主に日本語
3.4.4	物理的特徴・技術要件	写真印画紙を含む紙媒体資料
3.4.5	検索手段	ホームページ上で、PDFファイルにて閲覧可能。紙媒体目録は、資料閲覧室にて貸出可能。
3.5.3	関連記述単位	東京文化財研究所所蔵、作家ファイル「香取秀真」 千葉県立美術館所蔵「香取秀真調査ノート」他、関連資料217点 東京藝術大学美術館所蔵、香取秀真に関する資料 桑名市および桑名市博物館所蔵、伊東富太郎宛香取秀真書簡、約300点
3.5.4	出版書誌情報	『香取秀真展』（佐倉市立美術館、2003年） 『特別企画展「華ひらく近代工芸の美－板谷波山と香取秀真－」』（桑名市博物館、2022年）
3.7.1	担当者	中村節子（情報調整室）、田村彩子、橘川英規（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年7月27日

・本表の項目（番号）は、ISAD（G）（国際標準記録史料記述一般原則第2版）の記述エリアとおおむね対応している。

内容一覧　　■は判読不能な文字をあらわす

シリーズ	資料番号	名称	資料の分量	配架場所	備考
1：図案帳			9点	G1	
	1-1	計測図集			
	1-2	図案帖			昭和15年4月～17年末
	1-3	図案帳			昭和18年2月
	1-4	図案帳			昭和18年秋
	1-5	図案帖			昭和22年1月初日
	1-6	作品控帳			昭和23年正月
	1-7	図案帳			昭和23年2月
	1-8	図案帳			昭和25年
	1-9	（図案帖）			
2：調査ノート・実測図・メモ類			103ファイル	G2	
	2-1	調査旅行手帖			大正9年9月～11月
	2-2	調査旅行手帖			大正10年1月～11年5月
	2-3	調査旅行手帖			大正11年11月～13年1月
	2-4	作品覚書			
	2-5	備忘録二、銘文雑載一、菜単帖一、分類索引			手書きリスト「分類索引（備忘録2，銘文雑載，菜単帖ニ関スル）」
	2-6	備忘録一			昭和8年11月修。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分）目録」を参照
	2-7	備忘録二			昭和15年7月整理。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分）目録」を参照
	2-8	名物集　抄録			（風炉釜寸法の事…）
	2-9	菜単帖			昭和18年10月製。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分）目録」を参照
	2-10	梅花亭雑記（わらべ歌、民謡等）			挟み込み1綴（東海道五十三駅慰労雑歌、他）
	2-11	梅花亭雑記			
	2-12	鋳造要訣			明治30年11月
	2-13	絳楓廬雑綴			明治43年5月。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分）目録」を参照
	2-14	滅金鍍金			
	2-15	名越系図・大西歴代書・釜師由緒・名物釜所持之名寄			
	2-16	大西家代々霊■書記			浄雪編
	2-17	加藤忠三郎家歴代書及文書			
	2-18	閑事菴宗信自記苦心録			其4写シ　阪本周斎筆
	2-19	名物釜由緒聞伝控			天保14年ヲ写ス　浄雪編
	2-20	名越家秘伝風炉釜（石川公御好切形の字）			
	2-21	名越家秘伝風炉釜			
	2-22	釜寸法書（名古屋市伊藤氏）			
	2-23	鍋善の家に伝はれる伝書			
	2-24	天明鋳物沿革稿			天明鋳物資料１
	2-25	新編相模風土記ヨリノノート			天明鋳物資料２
	2-26	京都市鋳工名譜補足			
	2-27	高田十郎採録　鋳工資料			
	2-28	鋳物師　諸国文書			
	2-29	小泉五郎八盛岡時鐘鋳造顛末			昭和10年　小泉五郎
	2-30	盛岡御釜屋　小泉文書の再発見			昭和11年
	2-31	釜善事　鋳匠藤田家系書			昭和11年
	2-32	名古屋　水野平蔵　諸事書上留記・家職由緒之覚			
	2-33	江戸深川釜六事　太田家歴代過去帳			
	2-34	太田家系譜			
	2-35	松林寺撞鐘一件書			
	2-36	田中七右衛門尉藤原知義			
	2-37	烏山源正寺過去帳抄出			
	2-38	江戸鋳師書入用　重要美術品台帳ヨリ			
	2-39	曹洞宗全集中の金石文類所載梵鐘中の鋳工　元和以降の諸国の鋳師資料1			
	2-40	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料2			
	2-41	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料3			
	2-42	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料4			
	2-43	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料5			
	2-44	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料6			
	2-45	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料7			
	2-46	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料8			
	2-47	江戸時代 他郷の鋳師　元和以降の諸国の鋳師資料9			
	2-48	諏訪郡梵鐘の鋳師　諏訪鋳師資料1			昭和19年7月
	2-49	諏訪上社神宮寺五重塔露盤に関する書簡　諏訪鋳師資料2			
	2-50	諏訪鋳物師小泉家の事　諏訪鋳師資料3			
	2-51	諏訪郡梵鐘鋳師年表　諏訪鋳師資料4			
	2-52	安養禅寺　慈雲禅寺鐘名　諏訪鋳師資料5			
	2-53	杉本市松林右橘氏ノート　諏訪鋳師資料6			松林右橘氏
	2-54	上社拾ヶ所堂御取除キ材木御預帳等3点　諏訪鋳師資料7			
	2-55	諏訪地方の金工　諏訪鋳師資料8			写真17枚、封筒1枚、紙資料1枚
	2-56	諏訪地方の鋳師　諏訪鋳師資料9			拓本5葉
	2-57	打物師平田師家系　諏訪系譜資料1			
	2-58	長寿髙家系　諏訪系譜資料2			
	2-59	大島如雲履歴書　諏訪系譜資料3			
	2-60	堆朱家系抄録　諏訪系譜資料4			
	2-61	黒川義勝書状　諏訪系譜資料5			
	2-62	喜兵衛家系　彫金工後藤家系　諏訪系譜資料6			
	2-63	南部鉄瓶同業組合名簿　諏訪系譜資料7			
	2-64	岡倉覚三履歴　諏訪系譜資料8			
	2-65	黒川真頼履歴　諏訪系譜資料9			
	2-66	今泉雄作著書のこと　諏訪系譜資料10			塩田力蔵氏書状
	2-67	丸山瓦全他9通の書状　諏訪系譜資料11			丸山瓦全、吉田金弥、土屋宗菴、伊東富太郎、平瀬宗世、鈴木信一、山田信介、上田三平
	2-68	有章院　惇信院　銅燈臺銘分			
	2-69	惇信院廟			
	2-70	有章院廟　書状付			
	2-71	岩越二郎氏調査梵鐘表　銅燈臺			昭和18年1月　岩越二郎
	2-72	津軽風土記地理志原稿　鐘銘			

2-73	江戸時代鋳成の梵鐘所在と作者の刻名		昭和11年8月
2-74	銘文覚書		
2-75	金工家年契　明治工芸年表　附録　博物館沿革		
2-76	明治大正昭和工芸家没年調		
2-77	法隆寺西室堂什茶の湯道具寄進状		
2-78	聖徳太子十七条憲法　東大寺大仏関係　玉葉所載		
2-79	漢鏡銘		
2-80	長屋長左衛門造　鉦砂銅湯沸		
2-81	新聞切抜		詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分）目録」を参照
2-82	洗馬駅前中野家寄託図書一覧表		
2-83	熊野速玉神社神宝目録		
2-84	三字経		
2-85	西京釜師系		
2-86	加州釜師三左衛門家系由緒書		
2-87	魔鏡他原稿5種		
2-88	支那の古銅器原稿		
2-89	尾張六角堂長光寺地蔵に関する伊東富太郎氏の書状		3通　伊東富太郎
2-90	尾崎元春氏書状		尾崎元春
2-91	香取・板谷両講師視察日程		
2-92	有卦入会決算報告		昭和2年
2-93	露伴展出品目録		
2-94	鑁阿寺由緒		
2-95	釜関係資料メモ		10種
2-96	南蛮釜、水瓶、湯瓶計測図		3葉
2-97	水指実測図		5葉
2-98	真形釜(松）実測図（香取家蔵）		1葉
2-99	鹿楓文肩衡筒釜実測図		2葉　大阪　久保惣太郎氏蔵
2-100	水草秋草文銅風炉実測図		1葉　大阪　久保惣太郎氏蔵
2-101	山吹散真形釜実測図		佐藤千秀氏蔵
2-102	甲斐上野原保福寺資料		
2-103	郷土名工並助長奨励功労者小伝		昭和9年5月大阪府工芸協会刊
3：拓本・写真		109ファイル　G3	拓本、写真以外の資料は採録されていない場合がある
3-1	龍宝鏡	拓本3	美濃不破郡南宮真禅院
3-2	羽黒山鏡池発見鏡	拓本9	香取家
3-3	鏡	拓本2	浜中弥三郎氏
3-4	鏡	拓本21	個人
3-5	鏡	拓本18	古家実三氏（兵庫）
3-6	八代神社鏡	拓本7	伊勢志摩神島
3-7	鏡	拓本2	千葉健吉氏（船橋）
3-8	鏡　実測資料付	写真2、書簡2	愛知中島郡明治村日吉神社　香取秀真宛伊東富太郎封書1、葉書1
3-9	鏡	拓本6	
3-10	漢鏡	写真1	下野　野木神社　台紙に丸山瓦全書状貼付
3-11	梵鐘	拓本12	弘安3年、岐阜大垣徳勝寺
3-12	梵鎧	拓本9	本郷　教元寺
3-13	梵鐘	拓本3	慶長4年、香取家
3-14	梵鐘　虎・竹・蓮文	拓本2	岐阜養老郡多芸村
3-15	梵鐘　貞和鐘	写真1、拓本1	山梨　放光寺
3-16	梵鐘	拓本2	武蔵赤塚　泉福寺・真福寺
3-17	梵鐘	拓本6	応永21年、不破赤坂町勝山　安楽寺
3-18	梵鐘	拓本5	筑前早良郡内野村　西光寺
3-19	梵鐘	拓本5	日泰寺
3-20	梵鐘	拓本1	岐阜可児郡　熊野神社
3-21	梵鐘　鰐口	拓本11	岐阜可児郡相生村
3-22	梵鐘　鰐口	拓本8	
3-23	梵鐘	写真1	大谷　本願寺
3-24	梵鐘	写真1	名古屋　覚王寺
3-25	梵鐘	拓本1	下伊那郡下久堅村　文永寺
3-26	鰐口	拓本1	越後魚沼郡内吉谷村
3-27	鰐口	拓本4	埼玉大里郡歓喜院
3-28	鰐口	写真1、拓本1	山口今八幡神社
3-29	鰐口	拓本1	稲沢　万徳寺
3-30	鰐口	拓本1	立石寺　岩越二郎書状2通
3-31	古芦屋釜　松竹梅文　実測図付	拓本2、写真1	名古屋　森川勘一郎氏
3-32	古芦屋釜　竹梅文　実測図	拓本2、写真1	名古屋　森川馨氏
3-33	鰐口釜	拓本2	安田家
3-34	鰐口釜	写真1、拓本1	奥付藤実庵氏
3-35	真形釜　冊子付	拓本4	西脇済三郎
3-36	真形釜　霰地楓鹿文　実測図付	拓本4	細見氏
3-37	釜	拓本1	文和元年、中島小一郎氏
3-38	釜　雲龍文 少庵好2, 道庵好1, 岐阜五平氏1, 利休好1, 横浜宝田氏2, 豊玉神社1	拓本8	
3-39	釜　鴛鴦文	拓本3	
3-40	十徳釜	拓本4	
3-41	五疋馬釜	拓本2	
3-42	釜	拓本16	
3-43	手取釜　古天猫	写真1	奥村藤実庵氏
3-44	霰三足釜　浄頓	写真1	奥村藤実庵氏
3-45	光悦四方釜　三昌	写真1	森川馨氏
3-46	鷹ケ峰釜　名越三昌	写真1	奥村藤実庵氏
3-47	十王口宝珠釜　名越三昌	写真1	山口浄雄氏
3-48	甑口釜　名越浄祐	写真1	奥村藤実庵氏
3-49	法華堂釜　名越昌孝	写真1	奥村藤実庵氏
3-50	肩衡筒釜　大西浄清	写真1	奥村藤実庵氏
3-51	肩衡四方釜　大西浄清	写真1	奥村藤実庵氏
3-52	真形釜　大西浄清	写真2	奥村藤実庵氏
3-53	阿弥陀堂釜　辻与次郎	写真1	山口浄雄氏
3-54	阿弥陀堂釜　辻与次郎	写真1	奥村藤実庵氏
3-55	九輪釜　辻与次郎	写真1	奥村藤実庵氏
3-56	青紐釜　初代寒雉	写真1	西脇斎三郎氏
3-57	亀釜　3代寒雉	写真1	奥村藤実庵氏
3-58	平丸釜　堀山城	写真1	奥村藤実庵氏
3-59	立鼓形釜　道爺	写真1	奥村藤実庵氏
3-60	五疋馬釜　実測図付き	写真1	東京国立博物館

3-61 釜	写真1		東京国立博物館
3-62 四副神釜	写真1		土橋氏
3-63 釜　桐文	写真1		中村與助氏
3-64 釜　葡萄文	写真1		斎藤能躬氏
3-65 真形釜　蹴鞠文	写真1		式守蝋牛氏
3-66 釜	写真1		香取家
3-67 釜	写真1		伊藤次郎左衛門氏
3-68 平蜘蛛釜	写真2		瀬川昌耆氏
3-69 真形釜　鹿文	写真1		大西清右衛門氏
3-70 真形釜　笹文	写真1		山本又五郎氏
3-71 釜	写真1		正木直彦氏
3-72 釜	写真3		西脇済三郎氏
3-73 釜　鳥鷺文	写真2		由井彦太郎氏
3-74 釜　老松文	写真1		盛岡　光照寺
3-75 釜	写真1		奈良　慈光寺
3-76 大釜	写真2		奈良興福寺　大湯屋
3-77 湯釜	写真1		大和吉野　世尊寺
3-78 釜	写真12		
3-79 釜　箱書	写真5		
3-80 風爐　子鬼	写真1		東京芸術大学
3-81 風爐　荒磯大欠	写真1		北岡猪三郎氏
3-82 風爐	写真3		
3-83 鉄仏	写真1		名古屋功徳院
3-84 阿弥陀仏	写真1		滋賀　善水寺
3-85 弥勒仏	写真1		岡寺
3-86 弥勒仏	写真1		野中寺
3-87 仏像（尊名不明）	写真3		細見氏
3-88 仏像（尊名不明）	写真2		細見氏
3-89 仏像　背銘	拓本1		福島県西白河郡信夫村大日堂
3-90 五鈷	写真1		
3-91 提子	写真3		
3-92 灯籠	写真1		岡山　国清寺
3-93 盤	写真1		伊勢　専修寺
3-94 盤	写真2		細見氏
3-95 浴地螺鈿御太刀	写真4		春日神社
3-96 龍頭	写真1		奉徳寺
3-97 金工品　雑	写真8		鹿島伝蔵氏
3-98 金工品　雑	写真47		鹿島伝蔵氏
3-99 笈	拓本2		諏訪　仏法寺
3-100 寒山拾得碑（鉄舟讃）	拓本3		熱海　温泉寺
3-101 擬宝珠	拓本3		三重多度村　多度神社
3-102 光悦色紙屏風	写真1		久遠寺
3-103 李朝四方蓋もの	拓本2		岡谷　片倉氏
3-104 薬師寺台座	写真1		薬師寺
3-105 宝篋印塔	拓本1		石城寺　薬王寺
3-106 仏応禅師　骨器銘文	拓本10		円覚寺
3-107 小笠原長清　蔵骨器	写真2		岐阜　荘福寺
3-108 工芸各種	写真18		伊藤氏
3-109 拓本　雑	拓本2		拓本2
4：印譜	29ファイル	G3	印譜以外の資料は採録されていない場合がある
4-1 印譜	75種79枚		詳細は紙媒体「香取文庫資料目録」を参照
4-2 大和古印　麻左比古印	1		
4-3 古印集1	38種101枚		詳細は紙媒体「香取文庫資料目録」を参照
4-4 古印集2	9種22枚		詳細は紙媒体「香取文庫資料目録」を参照
4-5 印影　鰐淵寺	1		
4-6 印影　松虫寺	1		千葉　印旛郡
4-7 印影　長林寺	2		足利
4-8 印影　鑁阿寺	2		足利
4-9 印影　銅印	1		丹生神社（伊勢）
4-10 印影　木印	1		氷室神社（奈良）
4-11 印影	1		溱川神社
4-12 印影	9		諏訪神社
4-13 伊保国印	1		大高西行氏
4-14 印影	1		柿木寸銕氏
4-15 秦印	1		安田善次郎氏
4-16 銅印	1		横山大観氏
4-17 古銅印	1		松井淳風氏
4-18 銅印	1		堀江滝三郎氏
4-19 印影	1		中村不折氏
4-20 大阪帝国大学図書印	3		香取秀真作
4-21 印影	2		香取秀真作
4-22 印影	1		池田雄一郎氏
4-23 私印	1		平塚運一氏
4-24 印稿（楠山篆）	1		
4-25 私印	1		高階研一氏
4-26 私印	1		小林正盛大僧正
4-27 安田文庫印	3		
4-28 倭古印	1		
4-29 印影　各種	43		
5：書籍	63点	G3, F1	
E03||13920 随筆ふいご祭		G3	香取秀真/学芸書院
E03||13872 金鼓と鰐口		G3	香取秀真/香取秀真
E03||13927 金工史談		G3	香取秀真/桜書房
E03||13928 続金工史談		G3	香取秀真/桜書房
E03||13921 日本鋳工史		G3	香取秀真/郷土研究社
E03||13922 日本鋳工史稿		G3	香取秀真/甲寅叢書刊行会
E03||13923 日本鋳工史稿		G3	香取秀真/甲寅叢書刊行会
E03||13924 日本鋳工史稿		G3	香取秀真/甲寅叢書刊行会
E03||13914 江戸鋳師名譜		G3	香取秀真/香取秀真
E05|| 日本名画古代文様類集		G3	田中茂一/田中繁薄堂
5-1 鋳家譜		F1	明治38年　名越昌次蔵
5-2 鋳家系		F1	尾張随意室蔵板

5-3	新撰釜師系譜	F1	昭和7年3月　香取秀真
5-4	新撰釜師系譜	F1	昭和7年3月　香取秀真
5-5	大日本釜師之系譜	F1	大正6年　掘 浄親
5-6	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月　香取秀真
5-7	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月　香取秀真
5-8	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月　香取秀真
5-9	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月　香取秀真
5-10	稿本武蔵梵鐘志　別巻	F1	昭和6年7月　鶴田勢湖　原寛書店
5-11	史蹟名勝天然記念物調査報告書 11 梵鐘集録	F1	昭和18年3月　神奈川県
5-12	史蹟名勝天然記念物調査報告書 11 梵鐘集録	F1	昭和18年3月　神奈川県
5-13	史蹟名勝天然記念物調査報告書 12 梵鐘號	F1	昭和22年8月　神奈川県
5-14	史蹟名勝天然記念物調査報告書 12 梵鐘號	F1	昭和22年8月　神奈川県
5-15	史蹟名勝天然記念物調査報告書 12 梵鐘號	F1	昭和22年8月　神奈川県
5-16	史蹟名勝天然記念物調査報告書 13 梵鐘號	F1	昭和23年2月　神奈川県
5-17	梵鐘	F1	昭和24年2月　松居良典　高岡老子製作所
5-18	梵鐘の知識	F1	昭和24年3月　青木一郎　日本華道学院
5-19	Experimental Studies on the Sound of a Japanese Temple-Bell ("Ojikicho" in Myoshinji-Temple)	F1	Memoires of the College of Science. Series A 15-5 抜刷 1932, Aoki Ichiro, Kyoto University
5-20	Study of the Sound emitted by the Japanese "Dohachi"	F1	Memoires of the College of Science. Series A 16-6 抜刷 1933, Aoki Ichiro, Kyoto University
5-21	Experimental Investigation on the Sound Emitted by Japanese Hanging-Bell s	F1	Memoires of the College of Science. Series A 19-6 抜刷 1936, Aoki Ichiro, Kyoto University
5-22	梵鐘の振動の形に関する一つの理論	F1	京都高等工芸学校創立40周年記 昭和17年5月　記念論文集別刷　青木一郎
5-23	梵鐘の駒の爪の形の変遷	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月　記念論文集抜刷　青木一郎
5-24	打撃による梵鐘の永久変形に就て	F1	京都工芸専門学校創立45周年記　昭和23年4月　記念論文集抜刷 青木一郎・山本登
5-25	鐘音の唸りについて	F1	京都工芸専門学校創立45周年記　昭和23年4月　記念論文集抜刷 青木一郎
5-26	鐘音の基本音の唸りに関する一考察	F1	京都工芸専門学校創立45周年記　昭和23年4月　記念論文集抜刷 青木一郎・稲川正義
5-27	梵鐘の基本音の振動数及び唸りの測定	F1	京都工芸専門学校創立45周年記　昭和23年4月　記念論文集抜刷 青木一郎
5-28	京都法輪寺鐘の音響	F1	京都工芸専門学校創立45周年記　昭和23年4月　記念論文集抜刷 青木一郎
5-29	知恩院大鐘の周波数測定	F1	京都工芸繊維大学京都工芸専門学校論文集第7集昭和25年4月　抜刷　青木一郎・成田洋・山口康夫
5-30	愛知県三河地区の古鐘に対する調査	F1	京都工芸繊維大学京都工芸専門学校論文集第7集昭和25年4月　抜刷　成田洋
5-31	対馬の梵鐘と銅鉦	F1	東方考古学叢刊乙種6「対馬」抜刷　昭和28年1月　坪井良平
5-32	佐野天明鋳物略記	F1	昭和22年7月　両毛史学会　佐野鋳工協同組合（刊）
5-33	佐野　篠崎源三	F1	昭和22年6月　佐野美術協会
5-34	天明鋳物	F1	丸山瓦全
5-35	天明鋳物	F1	丸山瓦全
5-36	福島県下に於ける栃木県の鋳物師の作品	F1	白桃第23号別刷　岩越二郎
5-37	足利郡市鐘銘集	F1	昭和19年7月　丸山瓦全
5-38	古鏡銘考釋	F1	昭和6年4月　水谷悌二郎
5-39	大和片桐村の金石文（抜刷）	F1	高田十郎
5-40	南部のほまれ	F1	明治42年3月5日第5版 成瀬徳太郎
5-41	岩手県鋳工年表	F1	昭和2年5月　瀬川宗兵衛　太田孝太郎
5-42	粉河鋳工史	F1	逸木盛照
5-43	長崎の鋳物師	F1	昭和28年12月　渡辺庫輔
5-44	中世の鋳物業　歴史地理67巻1号2号　抜刷	F1	昭和11年　豊田武
5-45	古美術便覧（大津, 京都, 大和）	F1	昭和27年4月 東京国立博物館
5-46	大日本仏法根元寺院最初太子山向原寺伝記	F1	吉原龍蔵　吉原豊龍堂
5-47	稿本　考古年表	F1	大正6年5月　小泉栄次郎　聚精堂
5-48	数寄道具	F1	安永9年　柏原屋清衛門　小川屋六蔵　版本
5-49	鉄砲洲燈籠図	F1	大正14年11月　山田清作　米山堂
5-50	南縁随筆	F1	昭和26年11月　木村荘八　河出書房
5-51	造塔　第15年	F1	昭和24年10月　服部清道
5-52	造塔　第15年　2号	F1	昭和24年12月　服部清道
5-53	造塔　第15年　1号	F1	昭和25年3月　服部清道
6：書状類	13ファイル	G2	
6-1	中村不折氏書状		昭和13年
6-2	中村不折氏葉書		昭和13年
6-3	田沢金吾氏宛　秀真書状		
6-4	北原三佳氏葉書		昭和27年
6-5	丸山瓦全氏書状		昭和16年
6-6	平塚連一氏葉書		昭和12年
6-7	平塚連一氏葉書		昭和24年
6-8	木村荘八氏書状		昭和27年
6-9	木村荘八氏書状		昭和27年
6-10	木村荘八氏書状		昭和27年
6-11	見積書　学芸書院		
6-12	見積書　大塚工芸社		
6-13	見積書　半七写真整版印刷所		
7：追加受入れ資料	39ファイル	G1, F3	
追-1	印影（封筒入り）	F3	
追-2	印稿　昭和13年12月末／計測	F3	宝珠、梵鍾、釜などの計測も含む

追-3 印稿　昭和21年11月 8 日		F3	
追-4 香取秀真先生印譜		F3	奥付無／序には「昭和　21年11月新嘗祭南信里山辺にて」
追-5 十五松庵鋳印譜		F3	信涙の山村云々／「昭和二十三年七十五叟香取秀真　」
追-6 第二次梅翁作鋳印譜		F3	昭和二十一年里山辺に於て云々（巻頭）
追-7 梅花翁鋳印		F3	各巻巻末に索引／大原野大神聖～香取1巻／正宗～梅軒1巻
追-8 梅花翁鋳印		F3	正宗～梅軒1巻
追-9 梅花翁鋳印／秀真翁印譜		F3	帙裏に「昭和二十三歳次戌子三月十八日彼岸第一日秀真蔵」
追-10 龍虎雕繍		F3	この印譜は余の旧作・・古印云々「昭和二十四年九月 二十六日於鵠沼香取秀真」
追-11 六斎鉄筆譜		F3	昭和二十年四月以降中信云々／「昭和二十一年八月七日誌秀真」
追-12 瓔瓢子花卉　四季冊		F3	昭和21年5月
追-13 雲烟帖		F3	昭和 22～28年
追-14 画びき 昭和二十二年十一月三百十日		G1	ケース別置
追-15 画橋		F3	
追-16 画本禽獣		F3	
追-17 絵画控帳昭和十八年蝋梅秀真		F3	
追-18 入都過眼画梨		F3	「昭和二十一年四月熱海まで三日四日過眼也」（表紙）
追-19 布袋帖		F3	
追-20 宝船十艘		F3	「昭和二十七年七月三十一日香取秀真」（巻頭）
追-21 長楽帖丁亥十月初吉		F3	昭和21～28年
追-22 入山辺田端蔵		F3	「昭和十八年八月入山辺にて秀真」（巻末）
追-23 圓月帖昭和十九年甲申七月		G1	
追-24 霞山荘画会帳昭和　十八年八月二二日		G1	写真下に作者名と歌
追-25 きはめ書　控		F3	
追-26 孔雀御香爐		F3	
追-27 桂宮万葉集　臨書		F3	
追-28 洪鐘本源経		F3	
追-29 秀真撰　都きしきし		F3	
追-30 諸職受領調抄		F3	
追-31 諸方誂物控		F3	
追-32 探古雑抄		F3	
追-33 篆隷揩草帖		F3	
追-34 岡山玉井氏蔵昭和14年12月2日岩越拓、他		F3	拓本、手稿
追-35 随筆ぬきかき首巻、1～5、索引		F3	「昭和二十三年四月二十八日成」
追-36 文字瓦并復印		F3	
追-37 此四君子圖拓本		F3	
追-38 慶長以後鰐口郡誌抜書等		F3	
追-39 鰐口 I～6 ／未使用箋 2 冊		F3	
8：日記・歌集	75ファイル	F1, F2	シリーズ8 詳細目録
A-1 行雲流水		F1	昭和17年7月29日～ 昭和19年8月12日　ケース付き
A-2 大正八年己未自一月至三月日記		F1	大正8年1月1日～大正8年3月11日
A-3 入山辺		F1	昭和19年5月2日～昭和19年12月31日
A-4 永壽泰寧		F1	昭和19年7月15日～昭和20年10月31日
A-5 長生院裡		F1	昭和21年9月23日～昭和21年10月27日
A-6 名々止利		F1	昭和21年10月28日～昭和22年1月6日
A-7 里山辺より鵠沼		F1	昭和21年6月24日～昭和24年8月27日
A-8 上都日記		F1	昭和21年3月26日～昭和21年4月15日
A-9 山辺集		F1	昭和21年2月22日～昭和22年4月16日
A-10 松の浜日記		F1	昭和 21年4月27日～昭和21年6月8日
A-11 颯爽帖		F1	昭和21年9月～昭和22年10月
A-12 七取村香取日記		F1	昭和21年10月19日～昭和22年9月18日
A-13 なな取の香取		F1	昭和22年1月18日～昭和22年9月2日
A-14 麻王帖		F1	昭和23年10月14日～昭和24年7月10日
A-15 鳳鳴帖		F1	芳名録・記名帳。書簡（差出人：三輪真吉）挟み込みあり
A-16 寒露帖		F1	昭和27年10月16 日 ～ 昭和27年10月25日
A-17 壽像松本日記		F1	昭和28年9月3日～昭和28年9月9日
A-18 世田谷日録肆		F1	昭和26年4月15日～昭和26年10月31日
A-19 世田谷日録伍		F1	昭和26年11月1日～昭和27年12月31日
A-20 八十世田谷日録六		F1	昭和28年1月1日～昭和28年10月26日
A-21 世田谷集		F1	昭和26年4月15日～昭和28年12月
A-22 十五松庵日記		F1	昭和24年9月1日～昭和24年12月31日
A-23 十五松庵日記壱		F1	昭和25年1月1日～昭和25年5月31日
A-24 十五松庵日記弐		F1	昭和25年6月1日～昭和25年11月15日
A-25 十五松庵日記参		F1	昭和25年11月16日～昭和26年4月15日
A-26 新月歌会集		F1	明治31年10月16日～昭和23年11月23日
A-27 菓子の色々		F1	
A-28 思考の記		F1	明治25年5月～明治26年1月
A-29 磐古楼日記巻之一		F1	明治29年11月14日～明治30年1月31日
A-29 磐古楼日記巻乃二		F1	明治30年2月1日～明治31年12月31日
A-29 磐古楼日記巻三		F1	明治32年1月14日～明治34年10月2日
A-30 日暮日記		F1	明治35年9月16日～明治36年11月17日
A-31 歌稿天之真榊集		F2	明治35年4月2日～昭和2年12月
A-32 病床日記		F2	昭和2年12月24日～昭和3年11月27日
A-33 （「心の華」第二巻ー～）		F2	明治32年1月～明治37年7月
A-34 備忘録		F2	明治24年9月24日～
A-35 歌籠		F2	明治26年2月～
A-36 ななし草		F2	明治27年1月～明治27年3月23日
A-37 （日記）		F2	昭和16年4月1日～昭和19年8月1日※革表紙手帳
A-38 穂舎野		F2	昭和20年11月1日～昭和21年3月16日
A-39 入山辺		F2	昭和19年1月1日～昭和20年4月20日
A-40 里山辺		F2	昭和20年4月21日～昭和20年6月8日
A-41 雁燕去来		F2	昭和20年4月29日～昭和24年8月29日
A-42 梅華亭雑記巻一		F2	昭和19年10月23日～昭和19年12月28日
A-43 梅花亭雑記巻二		F2	昭和19年12月28日～昭和23年11月21日
A-44 梅華亭雑記		F2	昭和22年2月22日～
A-45 松庵雑綴		F2	
A-46 長■帖		F2	写生帖
A-47 （R.K スケッチブック）		F2	昭和28年11月9日～昭和29年1月23日

A-48	よろつひかへ		F2	昭和3年10月18日～昭和4年4月4日
A-49	（「ほつまの草紙」画稿？）		F2	スケッチ
A-50	「還暦以後」特製巻頭に特に式紙を挿み それにかきたい歌の控		F2	歌集・和紙・毛筆
A-51	天之真榊選歌		F2	明治31年～ 明治34年
A-52	(歌稿）和紙に毛筆４葉		F2	歌集・和紙・毛筆：和紙に毛筆４葉、原稿用紙に毛筆1葉、和紙を綴じた
A-53	吉江善男氏依頼画にかきたる歌控え		F2	歌集・和紙・毛筆
A-54	画にかきたる歌ども		F2	昭和 22年 7 月20日
A-55	萬控帳		F2	昭和22年11月26日～昭和23年1月
A-56	ほつまの冊子　うた		F2	
A-57	（秀真草子抜き書き・正岡家に贈ったもの 封筒2封		F2	歌集・和紙・毛筆
A-58	梅花亭新刊古典買入帳		F2	昭和5年庚午1月
A-59	南海西海道紀伊淡路阿波		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-60	能登越中		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-61	北陸若狭越前加賀		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-62	山陰二但馬		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-63	越後佐渡		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-64	山陽播磨以下長州迄		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-65	山陰丹波丹後		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-66	（補遺）		F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄）」に収納
A-67	東海道下武蔵		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年6月中旬三朗製）」に収納
A-68	神奈川県梵鐘集録抜書　毛利庄荻野住鋳物師		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年7月中旬三朗製）」に収納
A-69	相模足利下郡　千津島住鋳物師		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年8月中旬三朗製）」に収納
A-70	東海上　伊賀伊勢		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年9月中旬三朗製）」に収納
A-71	東山　信濃上野下野		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年10月中旬三朗製）」に収納
A-72	東山　近江、美の、飛騨		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年11月中旬三朗製）」に収納
A-73	畿内		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年12月中旬三朗製）」に収納
A-74	東山　岩城岩代陸中陸奥羽前羽後		F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年13月中旬三朗製）」に収納
A-75	直島鋳工名譜		F2	（■井良■による戦時供出鐘の調査記録）
9：原稿類		封筒10封	G4	シリーズ9. 詳細目録
原1～38		封筒1封		
原39～164		封筒1封		
原165	随筆金工談叢	封筒1封		
原166	古随筆の金工叢話	封筒1封		
原167～190		封筒1封		
原191	江戸鋳物師名譜原稿	封筒1封		
原192	日本金工史腹案	封筒1封		
原193～194	(鋳物師文書）（御鋳物師奉公会書類）	封筒1封		（附：雑誌「新岩手人」12-2～4, S7.2～4）
原195～196	江戸鋳物師名譜作品索引原稿	封筒1封		
原197	江戸鋳物師名譜原稿	封筒1封		
10：未整理資料		封筒3封	G1奥	
なし	拓1枚、封筒と写真各1枚	封筒1封		2-31と2-32の間にあったもの
なし	封書（今井真樹より香取秀真宛書簡）	封筒1封		2-52と2-53の間にあった封書1通（封筒1枚、便箋3葉、葉書1通、印影1葉）
なし	未整理資料1括	封筒1封		G4引き出しにあったもの